

東日本大震災と私

作成者 S.C1

目次

- 1 [地震当日の 2011.03.11 の私の動き](#)
- 2 [地震後 3ヶ月後の私の動き](#)
- 3 [今私にできること](#)

1. 地震当日の 2011.03.11 の私の動き

びっくりした。なぜなら急にカタカタ揺れたから。

最初はこの揺れが地震だと気がつかなかった。みんなが机の下に隠れていたので自分も隠れた。そこで大きな地震が起こっていることに気がついた。地震が起きているのにも関わらず、何が起きているのか理解できず避難訓練通りに行動できなかつたことを後悔した。今までにない揺れに隣の席の人は泣いていて、手を握られた。私は何もすることができなかつた。そこで先生が来て泣いている子に声をかけていた。そのことに感動し先生が好きになつた。

体育館に避難した後、すぐに家に帰ることになり私も家に帰つた。家に着くとみんな1階に集まつていて、反射板ストーブが使われていた。電気も点かず、水も流れない。

しかし、私たち家族が一番に心配したのは仙台に住む姉のことだった。地震が起きてすぐ姉から泣きながら電話が入つた。学校の窓ガラスが割れて公園に避難していると言つたそうだ。姉は2日間避難所で生活した。姉は、実家が岩手の友達を連れて帰つてきた。姉の友達の実家はグチャグチャになつてしまつたらしく、食べる物がないとのことで、米と灯油を差し上げた。姉は地震に敏感になつていて、小さな地震が起つただけで叫んで泣いていた。怖いと思うとともに姉がかわいそうに思つた。

電気が復旧してテレビがつき、ニュースを見てとてもびっくりした。地震の大きさにも驚いたが、震源地のひどい荒れ具合に一番驚いた。しかし、そのとき私は何もできなかつた。

I was surprised. The shaking was occurred seriously. I felt the earthquake. Students were crying. I clasped a hand of my friend. I was scared.

Later, when I saw the news on TV, I scared very much.

2. 地震後 3ヶ月後の私の動き

地震が起きてから、電気が付かず水が流れない。また、灯油がなくなるという状態になりました。夜は電気も付かないため、何もできず寝るということしかできませんでした。

震災地がかわいそうで、早く復旧してほしくて、私は募金した。何をしたら良いのか分からず、まずは募金した。そこから、家などで節電節水を心がけている。

Electricity didn't come and water didn't flow after the earthquake. Moreover, we entered the state that kerosene was lost.

The fund-raising-campaign was started for the victims. I cooperated to it. The power saving and the water saving was borne in mind everywhere in Japan. My family acts in this way.

3. 今私にできること

今私にできることは、節電・節水だと思います。今年の夏もどんどん暑くなると思うので電力量が増えると考えます。そこですぐにクーラーは頼らず、うちわを使ったり、氷などを使ったりで暑さ対策をしていきたいです。

また積極的に募金などもし、できる限りボランティアなどにも参加していきたいです。

It is thought that the electric energy demands will increase because it is thought that it will be hot in this summer. I will not use the air conditioner easily. I will use a hand fan.

がんばろう、日本！